

週刊



宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)

竹内美樹の  
こうふく  
口福のおすそわけ

165



多くの人が旅に出るきっかけは、行ったことのない場所へ行ってみたい、知らないことを体験してみたいという想いだろう。だから旅行先には、そうした想いを表現できる魅力的な観光資源が充実した所が選ばれる。辞書によれば「観光資源」とは「観光客を集めるのに役立つ、景色・風物・史跡など」とあるが、筆者のような食いしん坊にとっては、その土地のおいしい物を食べてみたいという想いも決め手の一つ。毎年冬になると、兵庫県津居山蟹や、福井県の越前がに、石川県の加能カニなどを食べに出掛ける。蟹が目的で旅に出るのだから、蟹という食材が観光資源ということになる。

だが、どこにでも寄っせパンダになるような食材が転がっているわけではない。

先日、山梨県の河口湖畔にある「富士レークホテル」を訪ねた。富士山や河口湖など、景色は最高だし、温泉もある。遊覧船や美術館など、観光客向けのコンテンツにも事欠かない。冷え込む冬季の週末には、「冬花火」

に役立つ、景色・風物・史跡など」とあるが、筆者のような食いしん坊にとっては、その土地のおいしい物を食べてみたいという想いも決め手の一つ。毎年冬になると、兵庫県の津居山蟹や、福井県の越前がに、石川県の加能カニなどを食べに出掛ける。蟹が目的で旅に出るのだから、蟹という食材が観光資源ということになる。

# 食材という観光資源

も打ち上げられる。あと感にあたるという。昨年はおいしい食べ物があればカンペキのだが、夕食時に同館の井出泰済社長に伺ってみると、残念ながらあまり食材には恵まれていないのだという。

活火山の富士山は、過去には何度も噴火したことがある。昨年刊行された『富士火山地質図(第2版)』によると、溶岩が流れ出す規模の噴火が過去2千年間に少なくとも43回あったという。つまり、富士山周辺一帯は溶岩地帯で、農業には適さないのだ。

だが、ここにはきれいな水があった。その水を利用して酒造りをしているのが、同館に程近い「富士五湖唯一の酒蔵一井出醸造店」だ。

21代目の井出與五右衛門社長は、泰済社長の縁

「甲斐の開運大吟醸」を「甲斐の開運大吟醸」である。

食事中に、冬花火が上がった。眼前の空に輝く色どりの光のシャワーに一同拍手喝采であったが、筆者は心の中でこの料理に拍手を送っていた。工夫次第で、地元ならではの料理が提供できるのだ。お客さまの口福のひと時のために、考えられることはたくさんあるのだと教わった。

※宿泊料飲食施設チャージナリスト。数多くの取材経験を生かし、旅館・ホテル、レストランのプロデュースやメニュー開発、ホスピタリティ研修なども手掛ける。

日本専門新聞協会加盟 紙  
国士交通省交通運輸記者会所属  
発行所  
東京都台東区池之端2-7-17  
井門池之端ビル 〒110-0008  
株式会社 観光経済新聞社  
電話 03(3827)9800(代)  
FAX 03(3827)9730

関西支社  
大阪市北区天満2-1-20  
天満松茂ビル 〒530-0043  
電話 06(6354)6166・6290  
FAX 06(6354)6292

北海道支局  
札幌市中央区北6条西27丁目  
1-3-705 〒064-0826  
電話 011(624)5030  
FAX 011(621)2530

東北支局  
山形市緑町4-14-57  
〒990-0041  
電話 023(687)0702  
FAX 023(687)0665

九州支局  
福岡市博多区博多駅東2-5-28  
博多備成ビル2F 〒812-0013  
電話 092(432)5525  
FAX 092(400)9980

購読料年間 11,340円(税・送料込)  
(税抜10,500円)

振替口座 00140-2-86888番  
e-mail info@kankokeizai.com